

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正前	訂正後							
311	問 8 過去出題	93 回 問 44	93 回 問 13							
359	表	訂正前								
		<table border="1"> <tr> <td>プリン</td> <td> アデニン (A)</td> <td> グアニン (G)</td> </tr> <tr> <td>嘧啶</td> <td> シトシン (C)</td> <td> チミン (T)</td> <td> ウラシル (U)</td> </tr> </table>	プリン	 アデニン (A)	 グアニン (G)	嘧啶	 シトシン (C)	 チミン (T)	 ウラシル (U)	
プリン	 アデニン (A)	 グアニン (G)								
嘧啶	 シトシン (C)	 チミン (T)	 ウラシル (U)							
		訂正後								
		<table border="1"> <tr> <td>プリン</td> <td> アデニン (A)</td> <td> グアニン (G)</td> </tr> <tr> <td>嘧啶</td> <td> シトシン (C)</td> <td> チミン (T)</td> <td> ウラシル (U)</td> </tr> </table>	プリン	 アデニン (A)	 グアニン (G)	嘧啶	 シトシン (C)	 チミン (T)	 ウラシル (U)	
プリン	 アデニン (A)	 グアニン (G)								
嘧啶	 シトシン (C)	 チミン (T)	 ウラシル (U)							
398	本文	2) 一塩基置換 (SNPs)	2) 一塩基置換 (SNPs) 削除							
435	問 2 設問 選択肢 4	～妨げる。で活性化される。	～妨げる。 で活性化される。 削除							
	問 2 解答 過去出題 解法のポイント 解説	<p>※以下に差し替え。</p> <p>3・4</p> <p>91 回 問 43</p> <p>V_{max} と Michaelis 定数の競合阻害、非競合阻害の問題は出題されやすいのでしっかり復習しましょう。</p> <p>1 ×：酵素活性はそのタンパク質の立体構造によって決まる。鏡像異性体間では、反応速度は異なる。</p> <p>2 ×：酵素には最適温度が存在し、酵素反応は温度にも影響される。</p> <p>3 ○：基質以外の物質が活性部位以外に結合し、酵素活性を調節することがある。これをアロステリック効果という。</p> <p>4 ○：競合的阻害剤は、酵素の活性部位を基質と奪い合うことで阻害する。酵素との結合は可逆的である。</p>								

ページ	箇所	訂正前	
436	<p>問3</p> <p>解答 過去出題 解法のポイント 解説</p>	<p>※以下に差し替え。</p> <p>2・4</p> <p>92回 問42</p> <p>タンパク質の修飾の問題は国家試験でも出題されやすいですので、しっかり復習しましょう。</p> <p>1 ×：ヒストンは塩基性タンパク質であり、ヒストンのメチル化により塩基性は強くなり、ヒストンのアセチル化により塩基性は弱まる。</p> <p>2 ○：タンパク質がリン酸化されれば相対的に酸性度が強くなり、等電点も変化する。</p> <p>3 ×：ヘムが結合していない場合をアポ酵素、ヘムが結合している場合をホロ酵素という。</p> <p>4 ○：スーパーオキシドジスムターゼは、活性酵素を除去する酵素であり、補因子として亜鉛や銅を含む。</p>	
	<p>問4 過去出題</p>	92回 問42	92回 問41
470	<p>問9 構造</p>		
478	<p>問22 解答</p>	1・3	2・4
543	<p>図内</p>	3回目の熱変性	Taq ポリメラーゼによる DNA 合成